

本学の入試が求めるもの



東京慈恵会医科大学

医学科 入試委員長

福島 統

2017年度 オープンキャンパス

入学試験についての情報(HP)

- 平成30年度入試概要について:
<http://www.jikei.ac.jp/univ/igaku/exam/gaiyo.html>
- 東京都地域枠入学試験について:
<http://www.jikei.ac.jp/univ/igaku/exam/chiikiwaku.html>
- 平成29年度入学試験結果:
<http://www.jikei.ac.jp/univ/igaku/exam/result.html>

平成30年度 入学試験

平成30年度入学試験日程

募集人員		110名(東京都地域枠 5名を含む)
出願期間		平成30年1月5日(金)～1月26日(金)
一次試験	試験日	2月5日(月)
	試験会場	五反田TOCビル(JR山手線・五反田駅8分)
	合格発表日	2月13日(火) 午後3時
二次試験	試験日	2月16日(金)～18日(日)のうちの1日
	試験会場	本学・西新橋キャンパス・大学1号館
	合格発表日	2月23日(金) 午後3時
入学手続 締切日	第1段階(入学金)	3月2日(金) 午後3時まで
	第2段階(授業料)	3月12日(月) 午後3時まで
納入金返還手続締切日		3月31日(土) 午後3時まで

平成30年度入学試験

教科	科目	時間	配点
理科	「物理基礎、物理」 「化学基礎、化学」 「生物基礎、生物」 の組み合わせから2つを選択	10時～12時 (120分)	200点
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ 数学A、数学B（数列、ベクトル）	13時～14時30分 (90分)	100点
英語	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	15時～16時 (60分)	100点

今までの入学試験結果

今までの入学試験結果

	H29	H28	H27	H26
募集人員	110	110	110	110
志願者数	2,035	2,276	2,400	2,574
一次試験受験者数 a	1,788	2,073	2,183	2,368
一次試験合格者数 b	475	450	450	490
一次試験倍率 a/b	3.8	4.6	4.9	4.8
二次試験受験者数	439	422	418	462
二次試験合格者数 c	165	165	155	155
最終倍率 a/c	10.8	12.6	14.1	15.3
二次試験補欠者数	218	206	225	269
繰り上げ合格連絡者数 d	102	151	184	152
実質倍率（繰上合格含む） a/(c+d)	6.7	6.6	6.4	7.7
入学者数	110	112	112	111

合格者最高点・最低点

	H29	H28	H27	H26	H25
最高点 (%)	78.5	86.5	84.9	83.5	85.8
最低点 (%)	44.8	61.5	62.9	58.3	59.3

東京都地域枠入学試験結果

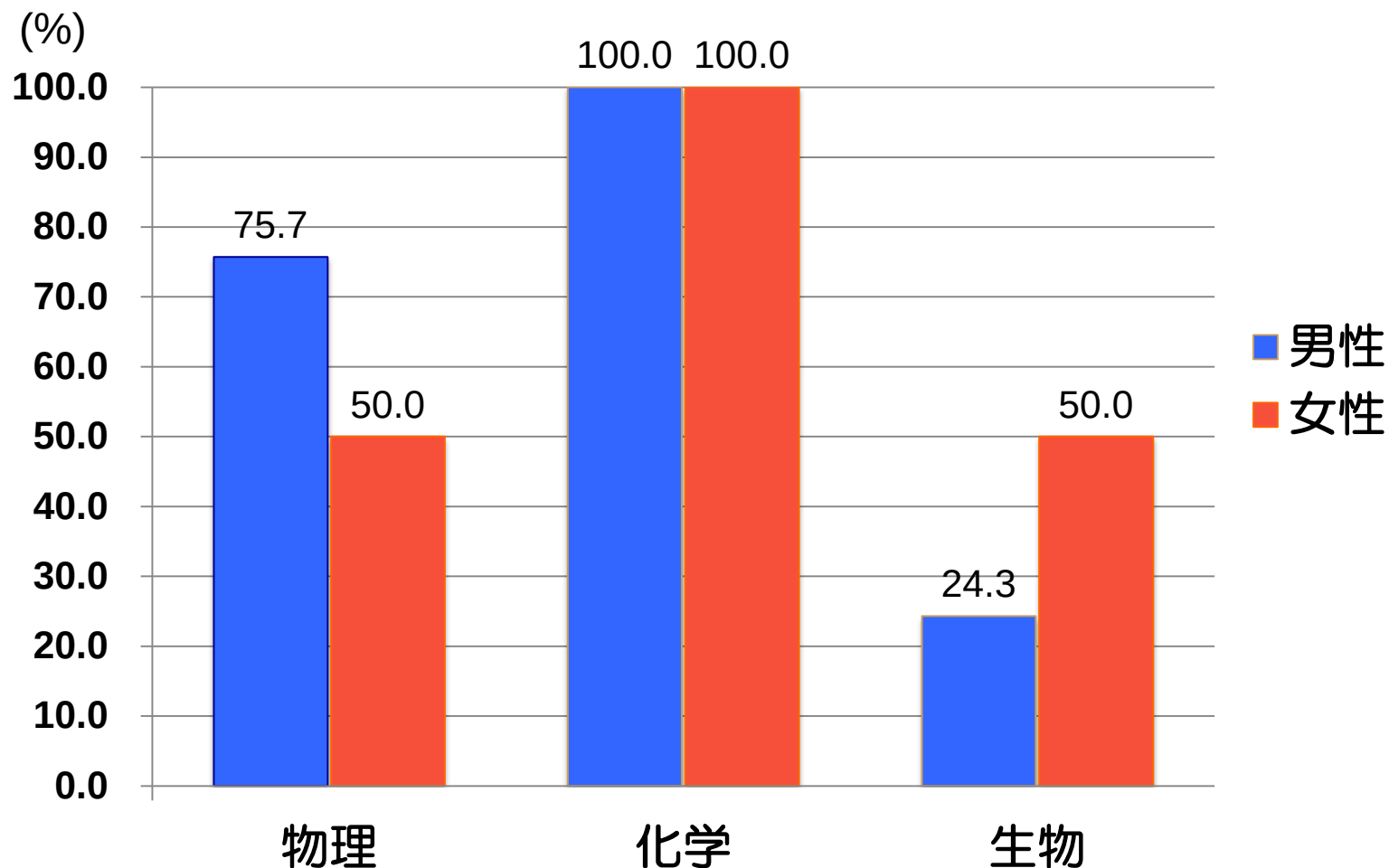
	H29	H28	H27
募集人員	5	5	5
志願者数	95	121	120
一次試験受験者数	79	114	107
一次試験合格者数	11	19	19
二次試験合格者数	5	5	5
入学者数	5	5	5

注意：

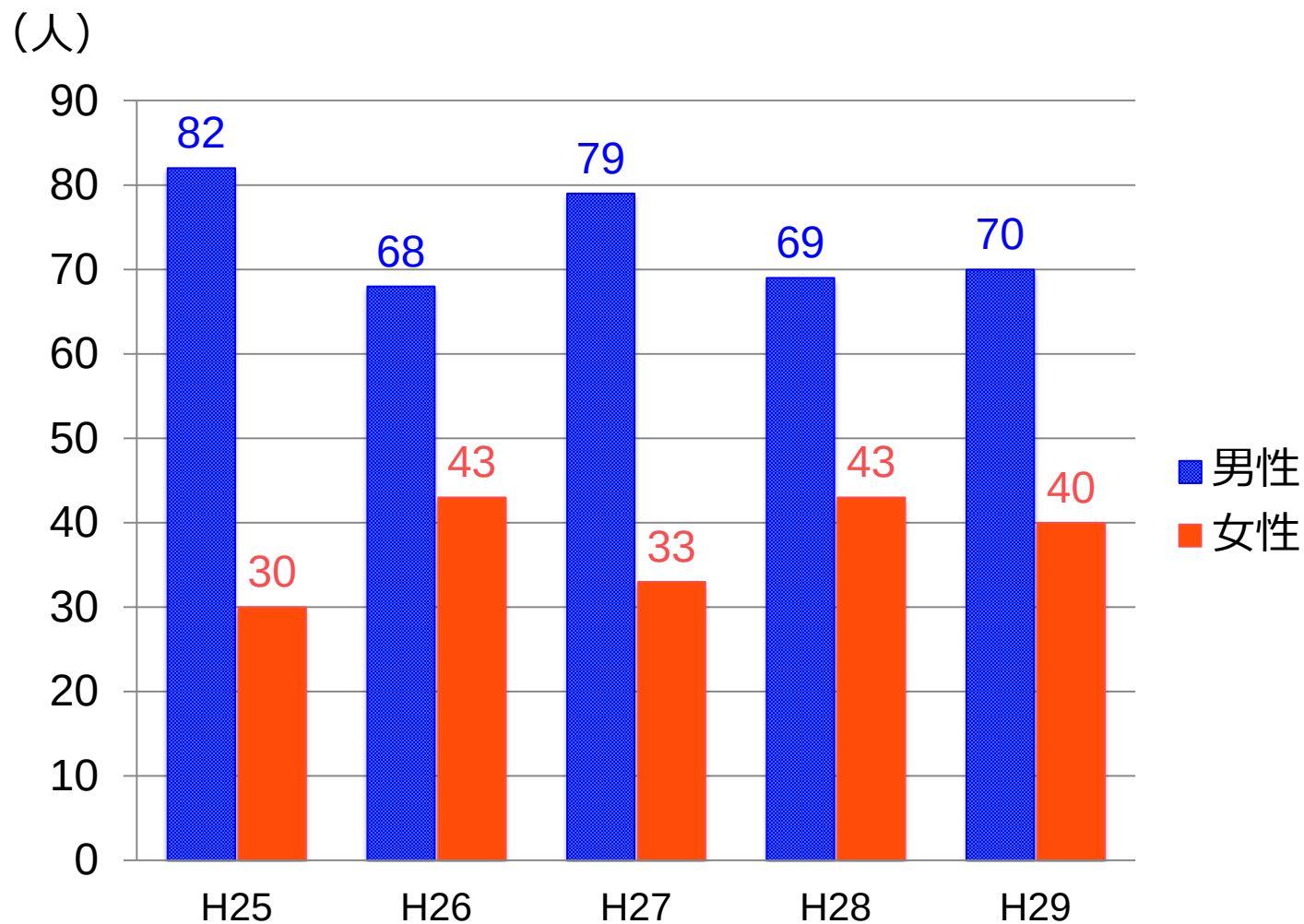
繰上げ合格は原則としてありません。

「専願」で不合格の場合、一般入試枠での合格はありません。

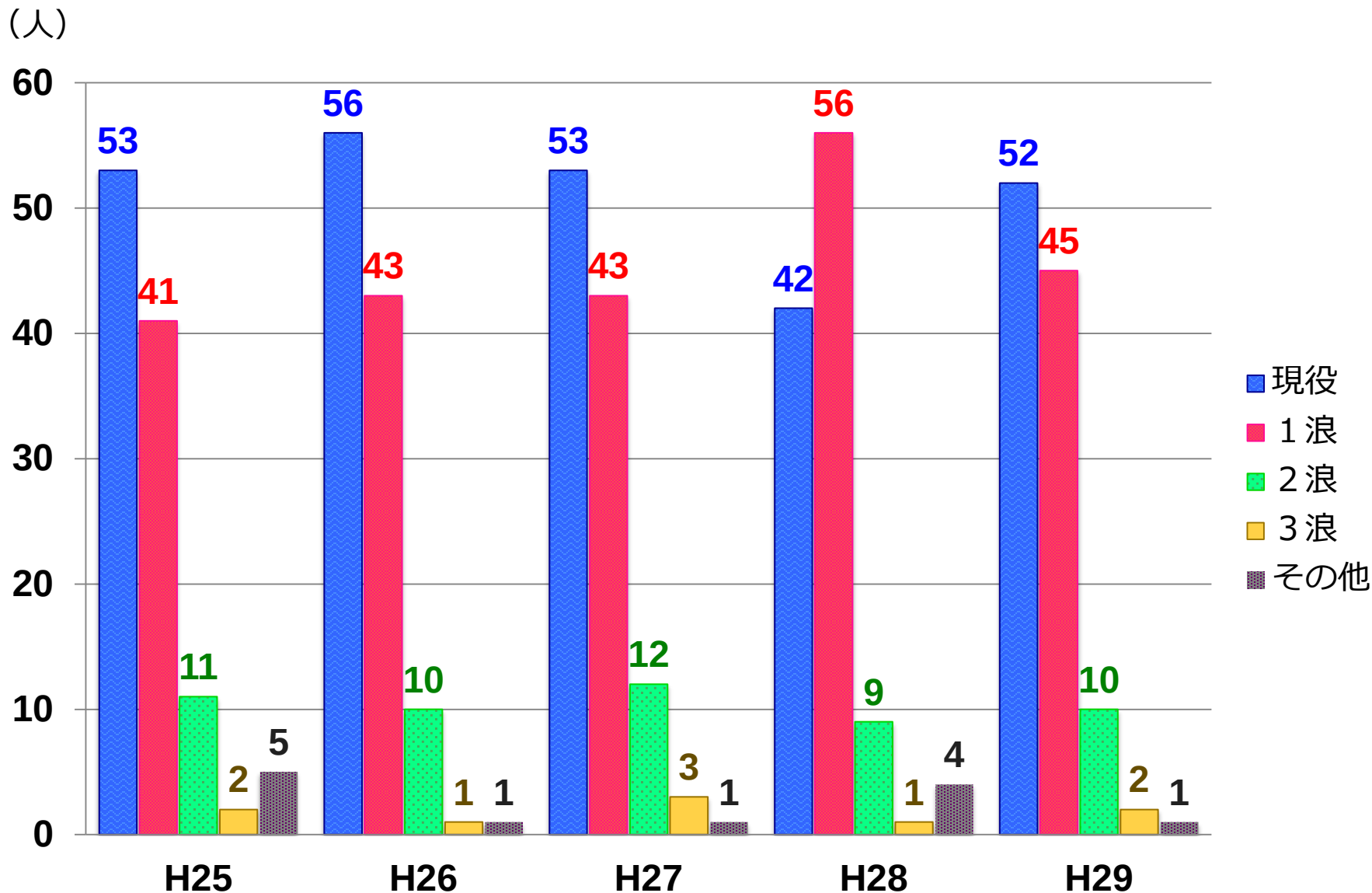
平成29年度合格者の理科選択状況



入学者の男女比



入学者の現役・浪人比率



昨年度からの入学試験の 改革

新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について（平成26年12月22日に中央教育審議会の高大接続特別部会）

- 我が国が成熟社会を迎え、知識量のみを問う「従来型の学力」や、主体的な思考力を伴わない協調性はますます通用性に乏しくなる中、現状の高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜は、知識の暗記・再生に偏りがちで、思考力・判断力・表現力や、主体性を持って多様な人々と協働する態度など、真の「学力」が十分に育成・評価されていない。

- 18歳頃における一度限りの一斉受験という特殊な行事が、長い人生航路における最大の分岐点であり目標であるとする、我が国の社会全体に深く根を張った従来型の「大学入試」や、その背景にある、画一的な一斉試験で正答に関する知識の再生を一点刻みに問い、**その結果の点数のみに依拠した選抜を行うことが公平であるとする、「公平性」の観念という桎梏は断ち切らなければならない。**大学入学者選抜は、一時点の学力検査によってその後の人生を決定させるためのものではない。

- 先を見通すことの難しい時代において、生涯を通じて不断に学び、考え、予想外の事態を乗り越えながら、自らの人生を切り拓き、より良い社会づくりに貢献していくことのできる人間を育てることが高等学校教育及び大学教育の使命であり、これからの大学入学者選抜は、若者の学びを支援する観点に立って、それぞれが夢や目標を持ち、その実現に必要な能力を身に付けることができるよう、高等学校教育と大学教育とを円滑に結び付けていく観点から実施される必要がある。

大学入学者選抜改革

- 多くの大学では、知識の暗記・再生や暗記した解法パターンの単なる適用の評価に偏りがちで、思考力等を問う問題であっても、答えが一つに限られている設問が多い。
- 卒業認定・学位授与の方針を体現する学生として卒業し社会で善き人生を歩むことができる潜在力を持っているかどうかを、各大学が入学者受け入れの方針に基づき判定すること。

- 大学入学者選抜が、「学力の3要素」の育成に向けて、高等学校における指導の在り方の本質的な改善を促し、また、大学教育の質的転換を大きく加速し、高等学校教育・大学教育を通じた改革の好循環をもたらすよう、個別大学における入学者選抜の在り方、大学入学者選抜における共通テストの在り方の双方について改革を進めていかなければならない。
- その際、「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」が導入される平成32年度と、……。

入学試験で測りたいもの アドミッション・ポリシー

本学のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成できる学生として、日々の学修と多様な経験の中から以下の能力を入学時迄に身に付けている人を求めます。

本学のアドミッション・ポリシー

- (1) 変化する社会、多様な文化や人々の中での医療ニーズを学び、社会における医師の職責について学修することができる。
- (2) 多様な個性・異文化の人々と交流ができる。
- (3) 汎用的技能としての数理的スキル、論理的思考力、問題解決能力を有する。
- (4) 自らの考えをまとめ、それを表現し、他者との対話を通じて協調的に新しい知識を創造できる。

- 入学試験では -

数理的スキル、論理的思考力、問題解決能力については、理科・数学の筆記試験で、異文化理解および英語でのコミュニケーション能力の一部を英語の筆記試験で評価します。自己を表現し、他者を理解し、社会における自己の役割について考える能力を面接試験で、他者に対して自分の考え方を論理的に伝える能力を小論文で評価します。さらに、知識を基に状況を理解し、どのような行動が適切か判断する力を面接および小論文で評価します。

カリキュラム・ポリシー

- カリキュラム・ポリシー

<http://www.jikei.ac.jp/univ/igaku/gaiyo/10.html>

医学科達成指針 (ディプロマ・ポリシー)

1. 医学を学び、また研究する際の基本的な考え方を身に付け、自律的に実践する
 - ・ 人間と社会に対する洞察力
 - ・ 他者の存在を受け入れてその考え方を理解する力
 - ・ 人類文明によって立つ自然科学への基本的理解力
 - ・ 自己主導型学修習慣と自己研鑽能力

2. 自己の人間性を高め、倫理的・科学的判断能力を磨く

- 豊かな人間性と人類愛
- 多様な立場の人々と良好に意思疎通する力
- 自分の考えを適切に表現して他者の理解を得ることができる力
- 社会人・国際人としての教養とマナー
- 異なる文化を持つ人々と交流する力
- 道徳的思考力と倫理的判断力
- 探究する心と科学的判断力

3. 医学の基本的知識を修得する

- ・ 基礎医学および医学に関連する科学の基本的知識
- ・ 臨床医学および医療の基本的知識
- ・ 社会医学および公衆衛生に関わる基本的知識

4. 医学の基本的技能を修得する

- ・ 医学知識を臨床実践に活用する力
- ・ 科学的根拠に基づく臨床推論に裏付けられた診療を実践する力
- ・ 基本的臨床能力としての診療手技
- ・ 基本的な臨床コミュニケーション技能

5. 医師としての適切な態度と行動を身に付ける

- 医師としての使命と責任の自覚
- 患者中心の職業的倫理感
- チーム医療に臨む主体性・協調性
- 医師としての適切な態度と行動
- 変化し続ける医療ニーズに対応するための生涯学修能力

そのために入学試験では

■ 一次試験

1. 理科・数学・英語の筆記試験

■ 二次試験

1. 面接(MMI)
2. 小論文
3. 入学願書・調査書

筆記試験では

覚えている知識を測るのではなく、思考力、論理力、読解力、得られた情報から適切な情報を選び出しそれを組み立てていく能力を測る試験問題を目指しています。

面接・小論文・（入学願書・調査書）

アドミッションポリシーに掲げた能力を大事にしていること、入学後に本学で学修を続けていける能力を持っているかどうか、そして医学科達成指針に向かって努力できる人がどうかを判断しようとしています。

面接 (Multiple mini-Interview)

- 5テーマについて面接を実施します(1課題に1面接評価者)。
- 1テーマごとに7分間の面接を行います。
- 面接時間は受験者一人当たり、7分間×5テーマ＋移動時間となります。
- 面接終了後、別会場で小論文を書いていただきます。

小論文

- 課題文(1,000字程度)を読み、そこから自由にテーマを設定して論じる形式です。課題文は受験日、受験時間によって変わります。
- 字数の制限は、1,200字以上、2,400字以内とします。課題文からなぜそのテーマを選んだのかを説明し、その後、そのテーマについて自分の考えを述べていただきます。
- 読み手に自分の考えを伝える能力を測るので、読みやすさは評価の対象となります。
- 試験時間は60分以上120分以内と設定します。

入学試験の意義

- 慈恵医大は、どのような医師を（ディプロマ・ポリシー）、どのように育てるのか（カリキュラム・ポリシー）、そのためにどのような入学選抜を行うのか（アドミッション・ポリシー）を明示しています。
- そして、本学が医師養成を通じて、果たそうとしている社会的責任を明示しています。
- 本学は、本学の使命を果たすために、入学者選抜を行っています。

受験生の皆さんへ 学長からのメッセージ

(<http://www.jikei.ac.jp/univ/igaku/exam/greeting.html>)

- どんな未来が待ち受けているのか、予測不可能な時代です。そこでは、様々な問題に対処できる能力を身につけることが求められています。しかし、どんな未来にあっても本学が追い求めてきた人間中心の医療の意義は変わることはありません。人の苦しみを理解し、人の役に立つ医療をひたむきに志す人たちに、本学を志望してもらいたいと思っています。